

SHIRAKOBATO

# しらこぼと



1999. S

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 184

日本野鳥の会 埼玉県支部

## 第15回支部総会を開催 しました

平成11年6月27日(日)午後1時30分から、浦和市高砂3丁目の埼玉会館7階7A会議室で、今年度の支部総会が開催されました。

### ■記念講演

浅見健一幹事の司会で開始されて、最初は本部会員センターの岩下路子業務室長(右)の記念講演「会員との接点・会員センターから見た野鳥の会」。会員センターで分析した野鳥の会の会員の特徴などが語られました。



### ■議長などの選出

講演が終わって少し休憩の後、再び浅見幹事の司会で議長選出が諮られ、倉林宗太郎幹事が議長に選出されました。

倉林幹事が議長席について、書記として大坂幸男幹事、議事録署名人として福井恒人・玉井正晴両幹事を選出し、議事に入りました。

### ■10年度事業報告と11年度事業計画

議長に指名されて、海老原美夫事務局担当副支部長が、10年度事業報告と11年度事業計画案の説明に立ちました。

10年度末の会員数は3,087人。年間増加数は79人、増加率は2.6%にとどまって、ほぼ横ばい状態でした。

探鳥会は、年間106回計画のところ雨天などで8回中止。実際に開催されたのは98回でした。1ヵ月平均にすると8.2回です。参加者数は合計4,222人。1回平均では43.1人。これらの数字もほぼ前年度と同じです。

そのほか、バードソンへの参加、ホームページの開設、数々の普及活動、研究部の調査研究活動、野鳥記録委員会の活動、年12回の『しらこぼと』の発行、事業部の販売活動

等が報告されました。

平成11年度の事業計画は、ほぼ前年度と同じ活動を継続する案が発表されて、質疑応答の後、事業報告、事業計画案は一括して承認されました。

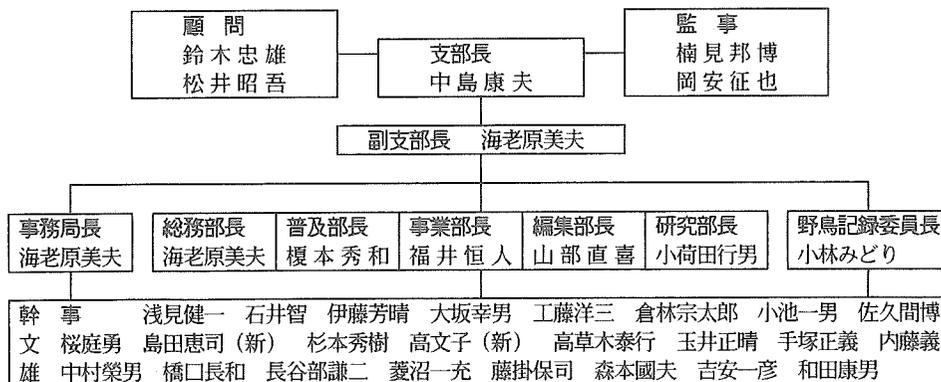
### ■10年度決算と11年度予算

引き続き、海老原事務局長が、次のような収支決算書と予算案を説明しました。

収入の部		
項目	10年度決算	11年度予算
一般会計期首繰越金	1,575,448	2,066,295
会費	4,810,300	4,500,000
寄付金	92,077	100,000
探鳥会参加費	295,998	300,000
雑収入	2,991	10,000
補助金	400,000	400,000
仮払い清算金	28,912	0
(小計)	7,205,726	7,376,295
事業部会計期首繰越金	5,364,010	706,987
運営準備積立期首繰越金	0	5,000,000
事業部売上金額	789,560	850,000
事業部雑収入	20,812	10,000
(小計)	6,174,382	6,566,987
合計	13,380,108	13,943,282
支出の部		
項目	10年度決算	11年度予算
什器備品費	0	200,000
消耗品費	21,959	50,000
支部報印刷費	1,088,640	1,500,000
支部報発送料	1,668,180	1,800,000
印刷コピー代	389,511	500,000
通信費	208,315	250,000
雑費	207,257	250,000
家賃	1,040,000	960,000
水道光熱費	49,742	60,000
仮払い金	820	0
総務部費用	116,260	150,000
普及部費用	199,380	200,000
編集部費用	49,800	50,000
研究部費用	0	30,000
総務部扱仕入代金	99,567	0
予備費	0	500,000
一般会計期末繰越金	2,066,295	876,295
(小計)	7,205,726	7,376,295
事業部仕入金額	378,994	680,000
事業部費用	2,730	10,000
事業部雑支出	85,671	0
運営準備積立金	5,000,000	5,000,000
事業部会計期末繰越金	706,987	876,987
(小計)	6,174,382	6,566,987
合計	13,380,108	13,943,282

10年度決算の収入では、事業部売り上げが予算額を下回った以外は、ほぼ予算通りであった事、支出は、節約を重ねた結果予算の範囲内で済んだ事、11年度予算案はほとんど

平成11年度役員と組織図



前年度並みの数字で作成した事等が説明され、楠見邦博・岡安征也両監事が、それぞれ監査の報告とともに意見を述べ、一括して異議なく承認されました。

■11年度役員選出

当支部では、毎年役員再任の意思を確認しています。漫然と役員を続けるのではなく、毎年気持ちを新たにす為です。今年度は、退任を申し出る役員がいませんでした。昨年度当初から比較すると、残念ながら新堂克浩氏の任期途中での死去による1名減少がありましたが、小規模の補充で良さそうです。

役員会で相談して、比較的県北地区の役員が少ないので県北から1名、また女性の役員も少ないので女性も1名ということはどうだろうかということになり、島田恵司氏と高文子さんの2名が役員会案として推薦されました。ところが、その検討が進められている途中で、突然浅見徹幹事の遠方への転勤が明らかになり、結局2名減、2名増の役員会案となって、それらの経過を事務局が説明、11年度役員が選出されました。



島田恵司新幹事

高文子新幹事



挨拶をする中島支部長

ここで例年通り、総会を一時中断して、新幹事を含む役員会議を開催して、支部規約に基づき支部長・副支部長等を互選する手続きに入り、支部長等は前年度通りとする事が確認されました。

■総会が終わって

総会後は、支部事務局に場所を移して、賑やかに懇親会が続きました。

支部役員達は、また1年間、無償のボランティアとして支部の活動を支えています。ああしたい、こうすべきと考えながらもなかなか思うに任せないことも多いのですが、探鳥会を中心とする地道な普及活動を積み重ねる事こそ、社会全般の自然保護に対する考え方を底辺から高めていくのに、最も大きな力になると考え、今年度も前年同様の活動を継続します。どうか会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。(文責・海老原美夫)



本年も標記調査が1月15日に行われました。  
穏やかな天候に恵まれ、カウント数は平年並  
になりました。アイサ類2種が見られました

ので、2年ぶりに17種が記録されました。ご  
協力いただきました方々に厚く御礼申しあげ  
ます。  
(柳原正昭)

百六湖	武蔵丘陵 森林公園	大沼公園	八丁湖	農林 県立 公園	昭和池	さきたま 古墳	白幡沼	大宮公園	横の池	栄中学 遊水池	深作川	柳瀬川	黒浜沼	元荒川	加須水 上公園	調査地		
大沼	公園内の池全部	大沼		芳沼	菖蒲公園	古墳の池全部	沼全部	ボート池				富士見橋 栄橋	上沼	今宮橋 八幡橋 滑掃局	園内の池	調査範囲		
吉見町	滑川町	江南町	吉見町	川本町	久喜市	行田市	浦和市	大宮市	大宮市	大宮市	志木市	富士見市	蓮田市	白岡町	蓮田市	加須市	総合計	地域
				3												80	マガン	
																	1	コハクチョウ
166	2,093	24		185	701	960						3	1	4		5,992	ツクシガモ	
	268	9		186	576	93						50	70	263	73	2,923	オシドリ	
	104			100	117	280	7					79	16	547		3,393	マガモ	
	11															15	カルガモ	
		13			3											59	コガモ	
		24		20												322	トモエガモ	
	9	20		3	200											1,820	ヨシガモ	
												307					322	オカヨシガモ
	12			69	63	24	43					56		82		1,734	ヒドリガモ	
46				9	30						4	5	39	107		377	アメリカヒドリ	
1	15			291	126		6									636	オナガガモ	
																	636	ハシビロガモ
																		アカハジロ
2	9			111	151		1					4					367	キンクロハジロ
																	1	スズガモ
						1											7	ホオジロガモ
																	29	ミコアイサ
																	11	カワアイサ
												3					3,506	カモSP
4	8	5	0	10	10	4	4	0	0	0	0	7	5	5	3	17		
215	2,521	90	0	977	1,968	1,357	57	0	0	0	506	96	943	181	21,273			
2	2	2	0	2	5	1	1	0	0	0	3	3	3	3	42			種 類
445	7,897	-	-	-	5,672	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	22,260		
168	8,323	-	-	-	6,310	-	22	134	-	-	-	-	-	-	-	25,286		
-	6,065	-	-	-	7,940	-	134	-	-	-	-	-	-	-	-	25,476	16	
2,131	6,418	-	-	-	6,262	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21,838	15	
2,048	6,814	-	-	-	7,630	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24,866	17	
965	3,367	-	-	-	7,055	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18,992	17	
627	3,375	-	-	-	7,823	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26,839	18	
1,453	4,900	-	-	-	5,495	-	234	158	-	-	-	-	-	-	-	24,007	18	
486	2,786	230	-	556	4,290	-	51	146	-	-	-	-	-	-	-	20,779	18	
1,276	4,590	225	195	-	4,713	-	80	185	-	-	877	-	-	-	-	29,248	17	
676	2,899	113	-	1,023	4,174	872	74	117	-	-	832	-	-	-	-	21,291	19	
1,179	4,029	232	-	1,634	3,864	1,229	66	222	260	539	823	-	-	-	-	25,859	18	
299	4,877	73	-	2,367	3,091	874	80	-	-	-	714	-	-	-	-	24,316	16	
341	1,888	62	-	940	-	1,140	19	-	-	-	887	-	-	-	-	18,705	19	
576	1,343	81	-	873	-	718	24	-	-	-	630	-	-	-	-	17,157	15	
-	2,309	-	-	-	1,081	1,170	12	-	-	-	716	-	-	-	-	7,371	13	
																		ヒドリガモ xアメリカヒドリ

### 初めての三宅島探鳥会

大友慎也（上尾市）

大路池に向かうバスの車窓から、まずはイソヒヨドリのおはようの歓迎。バスを捨て、池に近づくにつれ、シャワーのようなイジママシクイのさえずり。さらに鬱蒼とした原生林の中を降りて行くと、ミソサザイ、コマドリのコーラスの連続。池を半周したあずまやで、オーストンヤマガラやアカコッコに歓声。朝食後、伊豆岬ではウチヤマセンニュウの独特のさえずり飛翔。そしてまた、翌早朝の大路池でついにスコープの中にカラスバトが。船上探鳥では、コアホウドリ、クロアシアホウドリが次々出現。海面に浮かんでいるものもいて興奮しきり。足の疲れも忘れ棒立ちに次ぐ棒立ち。ここに到って、参加者一同いつしかまとまりのある和やかなチームに変身していた。

島特有の野鳥たちに全部出会い、二日間天気にも恵まれ、さても素晴らしき探鳥会に導いて下さったリーダー諸氏に多謝多謝！参加者の胸には、忘れられない思い出としていつまでも残ることは疑いない。



（さおりとかずや君、はるかちゃんと秀君）

### たのしかった三宅島の探鳥会

島田沙織里（鴻巣市・小5）

わたしは、三宅島に行きました。朝の5時に三宅島につきました。荷物を民宿にあずけて大路池に行きました。最初に見たのはイジママシクイとオーストンヤマガラです。

次に、頭が黒色、アイリングがオレンジ色のかわいいアカコッコに会いました。やぶの中では、コマドリがヒンカラカラとさえずりをしていました。

翌朝、4時半に大人の人がでかけました。子どもたちは、ねていました。朝の5時におきました。さおりとかずや君とはるかちゃんと秀君の4人で、うみに行きました。その途中で、秀君がオオルリを見つけました。

海は、とってもきれいでした。大人の人達が帰ってきたので、オオルリを見つけたと話したら、とってもおどろいていました。

帰りの船上で、クロアシアホウドリ、コアホウドリに会いました。また三宅島に行きたいと思います。雨が降らなくてよかった。

### 今さら聞けない質問コーナー

Q：カッコウやホトトギスの仲間を「トケン類」というのは、なぜですか。「トケン」という言葉の意味がわかりません。

（春日部市・鈴木紀雄）

A：広辞苑で「ホトトギス」の項を見ると、「杜鵑」と出ています。この漢字を音読みすると「トケン」となります。ついからですから逆に「トケン」の項を引いてみますと、「杜鵑＝ホトトギスの漢名」と出ています。

要するに、ホトトギスの仲間の別な呼び方という事です。ホトトギス科の鳥と思われるが、その中の何であるか種名を同定できない時、「トケン類」という言い方をします。つまり、「ホトトギス sp.」という事と同じです。

ホトトギスの場合は、科の名前と、その中の1種の名前が同じものですから、「ホトトギス sp.」というのと、種名に「sp.」を付けたような感じがすることを嫌い、「トケン類」と呼ぶ人がいるようです。（編集部）



北本市石戸宿 ◇4月26日、ベニマシコ♂1羽、ヨシ原でヨシにつかまりさえずっていた(大友慎也)。

浦和市秋ヶ瀬 ◇4月30日、ピクニックの森でサンショウクイ♀1羽、クヌギの樹冠で捕食していた。クロジ数羽、子供の森でキビタキ♂1羽。5月1日、ピクニックの森でキビタキ♂1羽、クロジ数羽。子供の森でセンダイムシクイ1羽、キビタキ♂1羽。野鳥の森でエゾムシクイのさえずり。5月6日、ピクニックの森でオオルリ♂1羽、キビタキ♂1羽。子供の森でクロツグミ♂1羽。5月15日、子供の森でメボソムシクイ1羽、サンコウチョウ♂2羽♀1羽(大友慎也)。◇6月12日、大久保農耕地B区で白昼堂々と男3人がGamma原の東半分の周囲にカスミ網を張っていた。よく見ると環境庁の標識調査の赤い旗が立っていた。山階鳥類研究所の人達で、ヒクイナにバンディングするとのこと。鳴き声を合図に3人がGammaの中に入り東に向かって追い出しにかかった。ところが、ヒクイナは、嘲笑うかのように(実際は怯えてただろうが)西側の湿地や畦道に出てきた。思わず手で拍手。この調査のおかげでヒクイナ3羽がよく見られた。ヒクイナの驚愕を思うと複雑な心境。6月20日、B区で前述のGamma原から20~30m北西のアシ原でヒクイナの声。警戒心が非常に強く「キョッ、キョッキョッキョ」という軽やかな声は数回聞けたが、姿は見せてくれなかった。ヨシゴイ10羽、コヨシキリ3羽(高田範之)。

浦和市別所 ◇5月30日午前4時頃、自宅で

カッコウの鳴き声を聞いた(志賀敢)。

大宮市鴨川第一調節池「ウエットランド」

◇5月3日、コアジサシ2羽、求愛給餌を行っていた。5月15日、コアジサシ2羽、さかんに給餌活動を行っていた。5月28日、コアジサシ1羽、早朝、人の少ない頃に採餌に来ている。どこから飛来するのだろうか。昨年より、この時季のみ見られるようになった(浅見健一)。

大宮市島根 ◇5月13日、チュウシャクシギ3羽、ムナグロ30羽以上、トウネン5羽。5月14日、チュウシャクシギ3羽、ムナグロ100羽以上、アオアシシギ1羽(大友慎也)。

大宮市日進町1丁目 ◇5月17日、メボソムシクイ1羽、さかんに鳴いていた。5月20日、ツミ1羽。5月21日、カッコウ1羽、初認(森本國夫)。◇5月28日、ツミ2羽、上空でさかんに鳴きながら、何度も絡み合っていた。大きさは、ほとんど同じに見えた(浅見健一)。

蓮田市元荒川 ◇6月9日、高速橋下流の岸辺から少し離れた菰の陰にカイツブリの巣を見つけた。6月28日、ヒナ2羽、卵2個を確認した(道祖土修一)。

川本町荒川明戸堰上流 ◇5月3日、ハヤブサ1羽、水際のイカルチドリ3羽を超低空でかすめた。イカルチドリの舞い上がった方向が思惑と違ったのか、狩りに失敗。そのまま上流に飛び去った(大友慎也)。

妻沼町利根川 ◇6月12日、刀水橋上流でカッコウ1羽、枯れ枝で鳴いていた。コチドリ4羽、イカルチドリ2羽、ゴイサギ1羽、コアジサシ3羽、上流から下流へと盛んに飛翔。ため池状態になった場所でホバリングし採餌していた(後藤康夫)。

### 表紙の写真

#### アオバズク(フクロウ目フクロウ科アオバズク属)

「巣から出たぞ」。7月のある日の早朝。北本市石戸宿の小川さんからの電話。

「ええ、本当! すぐ行くよ」。何はともあれ、急いで出発。「会社はどうしよう……ええい、今日は休み!」。

現場に着くと「ああ、いたいた。5羽だ。横に並んでいる。家族全員かな」とパチリパチリ。

午後はもう並んでいませんでした。午前中の一時の1枚です。 小出 博(鶴ヶ島市)

# 行事あんない



(何森 要)

## 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：8月8日(日)  
集合：午後9時30分 秩父鉄道大麻生駅前。  
交通：秩父鉄道熊谷9：11発、または寄居9：03発に乗車。  
担当：和田、森本、中島(章)、石井(博)、倉崎、松本、中里、高橋、後藤  
見どころ：暦の上では今日から秋。辛かった猛暑の中の探鳥会も終りに近づいてきました。自然の世界でもそろそろ入れ替えが始まります。渡りの途中でここにも立ち寄っていく鳥もいます。どんな鳥が出てくれるか楽しみです。まだまだ暑さは厳しいので防暑対策をお忘れなく。

## 浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：8月15日(日)  
集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または午前9時、浦和市立郷土博物館前。  
後援：浦和市立郷土博物館  
担当：楠見、福井、手塚、伊藤、渡辺(周)、笠原、倉林、若林、兼元、森、清水、前澤  
見どころ：今月の探鳥会は旧盆の15日。鳥たちも含めて、生きとし生けるものこのことを考えるのもよし。昭和に生きた世代には、終戦記念日。鳥を見られる幸せを思う。そんな日の真夏の探鳥会で

特別な場合を除いて予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費は一般100円。会員と中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。夏季は帽子、飲み物必携。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時頃。小雨決行です。

自然保護のため、できるだけ電車バスなどをご利用のうえ、指定の集合場所までおいでください。

す。ゆっくりと見沼たんぼを歩いてみましょう。

## 千葉県習志野市・谷津干潟探鳥会

期日：8月22日(日)  
集合：午前9時30分、JR武蔵野線南船橋駅改札口付近。  
交通：JR武蔵野線武蔵浦和8：34→南浦和8：37→南船橋9：26着。  
担当：杉本、手塚、長谷部、伊藤、篠原、斎藤  
見どころ：主に秋の渡りのシギ・チドリ類を観察します。春の渡りに比べて個体数は少ないけれど、種類は多く見られます。思わぬ珍鳥も出やすい季節です。干潟は日陰が少ないので帽子、飲み物などの暑さ対策を十分にお出かけください。

## 『しらこぼと』袋づめの会

とき：8月28日(土) 午後1時～2時ころ  
会場：支部事務局108号室  
案内：日中の暑さは、まだまだながら、朝夕の涼しさが季節の移り変わりを知らせています。これからの探鳥シーズンに向けて、色々プランを立てている方も多いと思いますが、袋づめをしながら鳥情報を仕入れるというプランもありますよ。昼日中の暑いときにお出かけで大変ですが、今月もよろしくお願います。

千葉県・船橋海浜公園探鳥会

期日：8月29日（日）

集合：午前9時30分、JR総武線船橋駅改札口付近。集合後京成バス9：40発船橋海浜公園行きに乗車、終点下車。

交通：武蔵野線南浦和8：30→西船橋にて総武線乗り換え、船橋下車。

担当：佐久間、菱沼（一）、中村（榮）、玉井、篠原、斎藤

見どころ：まだまだ暑いですが、ここ三番瀬は早くも秋のシギ・チドリやコアジサシの大群の渡りの時季をむかえています。皆様の支援のおかげで三番瀬の埋立計画が、縮小になりました。広い干潟で鳥や浜辺のカニ達と今日一日遊んでください。

注意：海浜は紫外線が強く日陰もありませんので、帽子を必ず携帯のうえ、お出かけください。

リーダー研修会

期日：9月5日（日）

会場：北本市中央公民館第3会議室（北本市本町1-2-1 ☎0485-91-7321）

交通：JR高崎線北本駅西口下車、徒歩約10分。駅前大通りを真っすぐ西へ進み、二つ目の信号を左折して約100m。

申し込み：支部事務局または榎本普及部長）まで。

案内：リーダー研修会参加者募集！ 研修会も今年で16回目。支部の活動や探鳥会の運営に興味のある方、参加をお待ちしております。当支部はボランティアが支える支部です。最初は「ちょっとお手伝い」で結構、リーダーとなって、あなたの新鮮な力を活かしてみませんか。支部会員であればどなたでも参加できます。鳥についての知識は二の次です。大切なのは熱意です。

持参する物：パンフ『探鳥会のすすめ方』・テキスト『あなたもバードウォッチング案内人』（どちらも、お持ちでない方は当日配布予定）、筆記用具等。

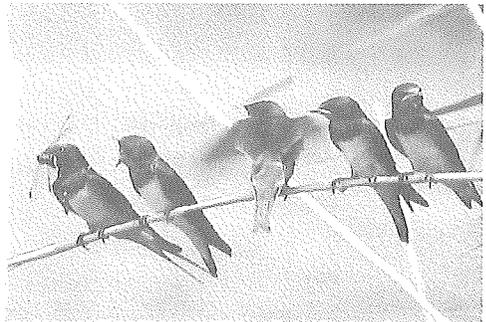
教えて下さい… 浦和市・山口綾子

鳥のさえずりをテープで覚えて、6月始めに山梨県の乾徳山に登りました。鳥の鳴き声を知らなかった時は、あまり聞こえてこなかったいろんな鳴き声が、実によく聞こえて驚きました。高度が上がると、林の中でメボソムシクイのチュリチュリチュリ……とエゾムシクイのヒーツーキーが聞こえてきて、今まで山で聞いていた声はこれだった、と嬉しくなっていました。

扇平の草原の灌木の枝で、顔に黒と白の縞のある茶色の鳥が鳴いています。チッチュッチチーと何回も繰り返して……。図鑑ではホオジロのようですが、帰宅してからテープで確かめると鳴き声が少し違う気がします。この程度の情報で、鳥の名前がわかったら教えて下さい。

お答えします

ホオジロの仲間で、顔に黒と白の縞があるという観察に加えて、6月始め、という季節を考えると、やはりホオジロが正解だと思います。ホオジロは里の鳥というイメージがありますが、山にもいます。私も以前、乾徳山の大平牧場付近でホオジロを見ました。鳴き声がテープと違う、ということですが、鳥のさえずりには個体差があります。ツーピー、ツーピーと一見（いや一聞？）単純なシジュウカラのさえずりも、注意して聞いてみるとテンポの遅いもの、早いもの、独特なクセがあるものと、さまざまです。ホオジロはさらに、色々なバージョンがあります。鳥のさえずりを一通りマスターしたら、次は一羽一羽の違いを楽しんで下さい。（編集部・小林）



ツバメ（海老原美夫）

# 行事報告

4月28日(水) 浦和市 秋ヶ瀬公園  
 参加: 58人 天気: 曇

カイツブリ コサギ カルガモ コジュケイ キジ シラコバト キジバト ツツドリ カワセミ アオゲラ コゲラ ヒバリ ツバメ ヒヨドリ モズ アカハラ ウグイス オオヨシキリ セッカ キビタキ シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ イカル シメ スズメ コムクドリ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(33種) 期待した夏鳥はほとんど姿を見せず残念。58人と多くの参加者があったので、何人かはアカハラの水浴び、ツツドリの声、イカルの声を聞いていた。(櫻庭 勇)

4月29日(木) シギ・チドリ類調査  
 ボランティア: 21人

浅見健一、浅見徹、新井勇吉、石井智、海老原実夫、海老原教子、大坂幸男、大塚操、狩野幸広、狩野智広、久保田忠覚、倉林宗太郎、後藤康夫、佐久間博文、島田恵司、島田沙織里、松堂忠義、馬場友里恵、福井昭子、福井恒人、藤掛保司◇◇例年どおり秋ヶ瀬地区で実施。御苦労様でした。

5月5日(水) 千葉県習志野市 谷津干潟  
 参加: 61人 天気: 晴

カワウ ダイサギ コサギ カルガモ コガモ オカヨシガモ バン シロチドリ メダイチドリ ダイゼン キョウジョシギ トウネン ハマシギ キアシシギ イソシギ オオソリハシシギ ユリカモメ コアジサシ キジバト ヒバリ ツバメ ハクセキレイ オオヨシキリ セッカ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス(29種) 潮回りが悪く、大風も吹いて、シギ・チドリ類が少なかったのが残念。終了後にはオオソリハシシギの群れなどが見られて谷津干潟らしくなった。(杉本秀樹)

5月7~9日(金~日) 東京都 三宅島  
 参加: 20人 天気: 7・8=晴、9=晴一時曇

コアホウドリ クロアシアホウドリ オオミズナギドリ アカアシミズナギドリ ハイロミズナギドリ ハシボソミズナギドリ オーストンウミツバメ ウミウ ゴイサギ アマサギ ダイサギ クロサギ アオサギ ミサゴ トビ マダラチュウヒ コジュケイ キジ キョウジョシギ タカブシギ キアシシギ イソシギ チュウシャクシギ トウゾクカモメsp ウミネコ カンムリウミスズメ カラスバト キジバト ツツドリ アオバズク ヒメアマツバメ アマツバメ コゲラ ツバメ コシアカツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ ミソサザイ コマドリ ノビタキ イソヒヨドリ アカコッコ ウグイス ウチヤマセンニュウ イイジマムシクイ オオルリ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ハシボソガラス(54種) 初めて小学生(4名)が参加。にぎやかな旅となる。アカコッコは少なめだが、それでも鳥じゅうに鳥影は濃い。北川リーダーのご尽力で、宿の車を借りて予定外の場所へも足を伸ばす。お蔭様でマダラチュウヒとのビッグな出会いも。帰りの船上探鳥も盛り上がり、充実した探鳥会だった。(榎本秀和)

5月8~9日(金~土) 長野県 白馬山麓  
 参加: 25人 天気: 晴

アオサギ カルガモ コガモ ホシハジロ キンクロハジロ トビ オオタカ ノスリ イカルチドリ イソシギ キジバト ヨタカ アマツバメ カワセミ アオゲラ アカゲラ コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ビンズイ サンショウクイ ヒヨドリ モズ ミソサザイ コルリ ノビタキ マミジロ クロツグミ アカハラ ヤブサメ ウグイス オオヨシキリ メボソムシクイ センダイムシクイ キビタキ オオルリ コサメビタキ サンコウチョウ エナガ コガラ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ ゴジュウカラ メジロ ホオジロ ホオアカ ノジコ アオジ クロジ カワラヒワ イカル ニュウナイスズメ スズメ

コムドリ ムクドリ カケス ハシボソガラス  
ハシプトガラス (63種) 雪形が浮かぶ白馬の山々  
にただ圧倒され、野鳥たちの澄んだ声が耳に心地  
よい。バイカモの花が清流に揺れ、スマレサイシ  
ン、ヒカゲスマレ、アズマイチゲ、キクザキチ  
ゲが雑木林に淡く咲く。カタクリの花上をヒメギ  
フチョウが舞い、山並みを逆さに映す水田にルリ  
イトトンボが止まっている。白馬では時間がゆっ  
たり流れていた。野鳥のほか、山野草36種、蝶8  
種、動物2種、トンボ1種を観察。(小池一男)

5月9日(日) 熊谷市 大森生

参加: 39人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサ  
ギ マガモ カルガモ コガモ キンクロハジロ  
トビ コジュケイ キジ バン イカルチドリ  
イソシギ キジバト アマツバメ カワセミ コ  
ゲラ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ セグロセ  
キレイ ヒヨドリ モズ ウグイス オオヨシキ  
リ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズ  
メ ムクドリ ハシボソガラス (33種) 初参加の  
方が多く、印象に残る出現を願って出発。間もな  
く、土手下にキジの夫婦が現われ、オスの真っ赤  
な額に全員が釘付け。明戸堰上流には、ここでは  
珍しいキンクロハジロの群れがいて、最後にはカ  
ワセミも飛んで花を添えてくれた。(和田康男)

5月9日(日) 蓮田市 黒浜沼

参加: 66人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ゴイサギ アマサギ ダイ  
サギ チウサギ コサギ カルガモ コガモ  
コジュケイ キジ バン コチドリ ムナグロ  
ウズラシギ キアシシギ イソシギ タシギ コ  
アジサシ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ  
ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨド  
リ ウグイス オオヨシキリ セッカ ホオジロ  
カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボ  
ソガラス ハシプトガラス (37種) さわやかな天  
気に誘われて集まった参加者が、夏鳥たちを探し、  
100羽以上のムナグロの中にウズラシギとキアシ  
シギを見つけて歓声が上がった。期待される夏鳥  
たちはほぼ全て現われ、大満足。(玉井正晴)

5月16日(日) 浦和市 三室地区

参加: 40人 天気: 曇

カワウ カルガモ コガモ コジュケイ キジ  
バン キジバト カワセミ ヒバリ ツバメ ハ  
クセキレイ ヒヨドリ モズ ウグイス オオヨ  
シキリ セッカ シジュウカラ ホオジロ カワ  
ラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガ  
ラス ハシプトガラス (24種) 5月は、いつも探  
鳥会までにカッコウが鳴くかどうか心配だ。今年  
は第3日曜日が早く、残念ながらカッコウは鳴  
かなかった。カワセミとキジがゆっくり見られた。  
オオヨシキリの凄まじい合唱曲には全員が圧倒さ  
れたが、ゆっくりとした探鳥会ができたのは楽し  
いことだった。緑の綺麗な見沼たんぼの風景は、  
季節を越えていいものだ。(楠見邦博)

5月23日(日) 狭山市 入間川

参加: 52人 天気: 晴

カイツブリ ゴイサギ ササゴイ コサギ アオ  
サギ カルガモ トビ コジュケイ キジ コチ  
ドリ イカルチドリ イソシギ キジバト コゲ  
ラ ヒバリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ  
セグロセキレイ ヒヨドリ オオヨシキリ シジ  
ュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムク  
ドリ オナガ ハシボソガラス ハシプトガラス  
(29種) 初参加の人にカルガモやカイツブリが見  
られたことを喜んでもらった。最近、遠出をしな  
いと楽しめなくなっているが、久々のササゴ  
イや夏羽のカイツブリはとてもよかった。感動は、  
案外身近にあるのかもしれない。(長谷部謙二)

5月29日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 15人

大塚操、尾崎甲四郎、北村隆、倉林宗太郎、後藤  
康夫、佐久間博文、島田恵司、島田沙織里、橋口  
長和、橋口知枝、福井昭子、藤野富代、増尾隆、  
松村禎夫、百瀬修



アマサギ (菱沼一充)

連絡帳

●普及活動

6月12日(日)浦和市立郷土博物館と周辺の見沼たんぼを会場に、同博物館と三室公民館共催の親子探鳥会が開催され、協力依頼を受けた当支部からは、講師・リーダーとして、楠見邦博・楠見文子・工藤洋三・倉林宗太郎・森力、5名の幹事・リーダーらが参加しました。

毎年恒例の第2土曜日、学校休日の行事です。定員30名のところに43名もの参加者が集まって、カッコウやオオヨシキリなど、19種類の野鳥に、歓声を上げていました。

●標識の付いたカワウを探してください

本部研究センターのカワウプロジェクトチームでは、関東ブロック協議会の提案によるアンケート調査や、水産庁の委託による実態調査などを継続し、結果を『野鳥』誌1998年9・10月合併号などで発表しています。

その一環として、今年も昨年に引き続き、カワウ標識調査グループと協力し、カワウのヒナにカラーリングを装着するバンディング調査を実施しています。今年も、行徳コロニー、台場コロニー、小櫃川コロニーの3ヵ所で、合計227羽のヒナに装着しました。

カワウの調査が十分に行われていないまま、食害が大きいため有害鳥獣駆除等の対策が強く求められている現状です。本年巣立った若鳥たちがどのように移動分散するのか、昨年生まれた亜成鳥たちは、どこのコロニーやねぐらにどのように定着するのか、調査を前進させるデータが集められるものと期待されています。

リングの付いたカワウを見かけたら、

- 1, どちらの足に何色のリングか。リングのナンバーは。
- 2, 今年のリングはアルファベットと数字の間にラインが入っている。そのラインの有無。ラインの色。
- 3, 観察場所。休憩地か、ねぐらか、コロニーか。コロニーの場合は繁殖状況は。
- 4, 日時、同時に見た羽数など。

を、191-0041 日野市南平2-35-2 WING 1階、日本野鳥の会研究センター、カワウプロジェクトチーム、加藤七枝 (FAX:042-593-6873、E-Mail:fwis0706@mb.infoweb.ne.jp) 宛てにお知らせください。

●ごめんなさいコーナー

6月号行事案内欄「群馬県片倉町・渡良瀬遊水地」は、「板倉町」の誤りでした。

●8月の事務局 土曜と日曜の予定

- 7日(土) 編集会議、普及部会議。
- 15日(日) 役員会議。
- 21日(土) 校正作業。
- 28日(土) 袋づめの会。

●会員数は

7月1日現在3,076人です。

活動報告

6月6日(日) 普及部会議(1月までの行事予定・その他)。

6月12日(土) 編集会議(7月号編集作業)、研究部会議。

6月19日(土) 7月号校正作業(海老原美夫、大坂幸男、喜多峻次、桜庭勇、藤掛保司)。

6月20日(日) 役員会議(司会:倉林宗太郎、総会準備・次回関東ブロック協議会検討事項・その他)。

6月28日(月) 7月号発送(倉林宗太郎、藤掛保司)。

編集後記

2年ほど前、植木鉢に何気なく撒いたオレンジが、高さ20cm位に育った。ベランダに置いておいたら、ナミアゲハが卵を生みつけ、今では4匹の幼虫が育っている。イモ虫系は苦手なのだが、毎日見ているうちにだんだん可愛くなってきた。それどころか、ちょっと脱皮が遅いのでは? 食欲がないのでは? と、育児ノイローゼ気味になってきた。早く羽化してほしい。(みどり)

『しらこぼと』1999年8月号(第184号) 定価100円(会員の購読料は会費に含まれます)  
発行人 中島康夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉支部 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460  
〒336-0012 浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替 00190-3-121130  
インターネットホームページ <http://www.bekkoame.or.jp/ro/wbsj-saitm/>

住所変更・退会などの連絡先 〒151-0061 渋谷区初台1-47-1 小田急西新宿ビル1階  
(財)日本野鳥の会会員センター業務室 TEL 03-5358-3511 FAX 03-5358-3608

印刷 関東図書株式会社 (本誌掲載記事は上記ホームページに転載されることがあります。本誌から、またはホームページからの無断転載は、かたくお断わりします) 再生紙使用